

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度 第11回金谷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成27年度地域活動支援事業の完了について（公開）

(2) 意見交換（公開）

在任期間の振り返り

## 3 開催日時

平成28年3月16日（水） 午後1時25分から午後2時29分まで

## 4 開催場所

福祉交流プラザ

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：田村恒夫（会長）、川住健作（副会長）、高宮宏一（副会長）

石川美恵子、市村政則、上野 弘、小池茂彦、高橋敏光、高橋日出男、

竹内恵市、樋口泰斗、山口茂幸、山崎四十四、吉越春男

・事務局：南部まちづくりセンター 橋本センター長、榎島係長

## 8 発言の内容（要旨）

### 【榎島係長】

・ 石黒委員と山下委員を除く14名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は田村会長が務めることを報告

### 【田村会長】

・ 会議の開会を宣言

・ 会議録の確認 高橋日出男委員、竹内委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【橋本センター長】**

資料により説明。

**【田村会長】**

質疑を求めるがなし。

続いて、次第3報告(1)「平成27年度地域活動支援事業の完了について」事務局に説明を求める。

**【橋本センター長】**

資料No.1により説明。

**【田村会長】**

質疑を求めるがなし。

次に、次第4「意見交換」に入る。

現在の地域協議会委員の任期が来月で満了になることから、4年間を振り返る。各委員に発言を求める。

**【吉越委員】**

最初は何もわからない状態で参加した。意見を聞くことが多かったが、前回の会議で「方向がぶれないで進むことが大事」であると発言した。今後委員が改選された後も、ぶれない部分を持ち、進んでいくことで、地域は発展すると考える。

市全体から見たらレベルが低い場面もあるかもしれないが、金谷区ならこれだという部分を推し進めていくことが大事だと感じている。

**【山崎委員】**

広大な地域に多岐にわたる問題点があると感じた。それらについて、討議し、できるものは実施していこうということで、自分で勉強もした。会議では意見が対立したこともあったが、それによって現状が見えたということも経験した。話すことは大事だと思った。今後は、新しい委員が取り組むと思うが、どうしたら金谷区が誇れるか、光れるかについて、もう少し踏み込んで行けたらと感じた。

**【山口委員】**

今期が初めての参加であった。あまり力になれなかった。金谷区に様々な問題があることがわかった。金谷区は発展性があり、人口減少もあまりない。やり方によっては発展する。

この4年間で山麓線の全通と新幹線の開通があった。人の話を聞いてもやはり目を引くものがなく、金沢や富山、そして上越よりも糸魚川のほうがPRされている状況である。新幹線駅に近接する金谷区として、それに対して何もできなかった。今後は他区と切磋琢磨しながら親交も深められれば、目的達成も近づくのでは。

#### 【樋口委員】

初めは何もわからなかった。地域協議会の委員の役割が理解できたのは2年経過後だった。

金谷区の景勝地や史跡の多さを改めて感じ、またそれを守ろう、語り継いでいこうとするグループがあることが分かった。その中には活動支援事業を毎年申請しているグループもあり、今後の継続を期待する。

自分としては金谷区に関する理解が進み、よかった。今後、町内役員に戻るが、防犯灯のLED化事業についてはとても助かっており、今後も助成をお願いしたい。

#### 【竹内委員】

当初はあまりわからなかったが、4年間共に考え、視察も行き、ようやく理解も進んだのではと感じている。自分の努力が不足していた。地域協議会委員の名刺はすべて使ったが、身分証を示して研究をすることはしなかった。会議への出席だけではなく、委員には研究活動も求められているのではと感じた。

活動支援事業については、我々の採点で順位が決定するということで気を使った。支援事業については立派に活用しているようであり、評価できる。

#### 【高橋日出男委員】

4年間は、あっという間であった。委員の発言に耳を傾け、地域に根差した協議会について漠然とした理解ができたようだ。金谷区は広大で大小様々な町内会で成り立っているが、小規模集落の代表者が地域協議会委員の中にいれば、その全体像が把握できたかと思われる。

飯山市への視察では、若者の活動が目立っていた。この委員の中にも若者が何人

かいれば、発言力の大きさも変わる。私の住む中通町はまちなかであり、歴史がなく何も無い。自身のまちをアピールすることができなかつたことは残念であるが、自身は育てていただき、満足である。

#### 【高橋敏光委員】

市長の諮問機関として、いろいろと討議をしてきた。市からの諮問の審議についてはそれなりにできた。しかし協議会から市長に意見を上げることができず、後悔している。一方的な諮問の審議だけをすればよいのか、市へ意見を出してもよいのか、地域協議会委員の立場がはっきりわからないまま終わったことが残念である。今後は市へ意見を出すこともあるかと思う。

会議では協議をするが、ひとつも意見書という結果が出てこないことが残念である。いろいろとあったが、皆さんの助けでようやく務めることができた。

観光面では金谷の観光マップを作ったり、金谷山の案内板を作ったり、会津墓地の宣伝をしたりした。それらがまちの活性化になるかと思っただが、なかなか難しい。小学校の学習教材の作成や、地域住民の認識度向上はできた。しかし外への発信は難しく残念であった。

きちんとしたことをするには先導する人が必要であるが、他の会と話し合おうとしても、なかなか話が進まなかった。金谷は資源を持っているが、外へ発信できていない。桑取の温浴施設では生産組合が野菜を売り、県の表彰を受けた。商品は売っていたのだが、高齢化により出荷や生産ができなくなり、先日その取組をやめた。せつかくまちおこしをしても、担い手がなく生産組合は消滅した。今年の春からは、二、三人となり、日曜や祝日しか店を出せなくなった。まちおこしが行われている中で、まちがつぶれていくということは、若者の減少、人口の減少が一番の問題である。この問題は次期委員に話ができればと思う。

#### 【小池委員】

地域の意見を取りまとめて発言する趣旨でこれまできた。しかし途中で協議会委員は何をする委員なのかについて疑問を持った。そのような中、なんとなく終わってしまった。

地域の意見を吸収しようとしたが、なかなか意見が出てこなかった。高齢化が進

んでおり、活性化がなされていないようだ。町内ができてまだ40年、以前からの住民と新しく来られた住民がやっと一つになることができた状況である。その中からはなかなか意見が出てこなく、意見集約できなかつたことが残念だった。

#### 【上野委員】

自主的審議事項には相当の期待をしていた。現在、自分が地域協議会委員であることを町内の方はほとんど知らない。可能であれば、会議での内容を住民に対し、示すことで反応を見たかったができなかつた。この場の議論が外に出ていくことはなかつたように思う。審議だけではだめで、人に何かをぶつけないと返ってこない。新しい委員ではこの点を考えてほしい。他の地域協議会では住民に対して何か、ぶつけている。ぜひそうなってほしい。

#### 【市村委員】

振り返れば、何もしてこなかつたという実感である。協議会そのものが住民の中には定着していないという気がする。協議会ができて7年経つが、何をしているのかというイメージがある。直接補助金の申請をした人は、理解していると思うが、一般の方には浸透していないようだ。そのため、審議事項も徐々に少なくなってきた。自分は町内会長だったので委員になったのだが、それではよくないのではという気がしている。町内会の会議では協議会の話をしているが、役員が交代してしまうと忘れられてしまう。町内の新しい役員へ委員の募集の案内をしたが、反応がないという現状がある。広報だけでは徹底できないため、今後も地域で周知を続けていく予定である。

#### 【石川委員】

役に立てたかと言われれば、じくじたる思いである。自分としては勉強になり、よかったと思う。金谷区のことをよく分かつた。また行政の担当課から直接説明を聞く機会を得られたこともよかった。その中で自分が何をすべきか、ということも少しは見えてきた気がする。

自主的審議事項が少なかつたのは残念である。自分で出したものが意見書にはならなかつたが、地域の問題をどこかに頼るのではなく、仲間と考えながら助け合っていきたい。我々は諮問機関であり決定機関ではないので、諮問には適当であると

回答したが、アライバイ作りに協力している感じがする。審議時間も少ない中、地域協議会はそのためのものかもしれないが、腑に落ちない気がした。

飯山市の高橋まゆみ人形館の視察では、その施設が人を集められる施設であると思った。一人の才能を市が支援することで活性化している。それがポイントである。新幹線駅に近い金谷ではあるが、何かできないものか。人を呼び寄せる力は、地域活性化の大きなポイントになると思う。勉強になった。

#### 【高宮副会長】

振り返ると、自分自身の行動が全くなかったことが反省点である。金谷地区には様々な協議会があるが、それらとの共同会議、または他地区との会議をもっと積極的に私から提案すべきであった。力不足を反省し、実施できなかったことをお詫びする。

#### 【川住副会長】

今期、採択した事業のその後を自分なりに見てきたつもりである。小滝の農民ライブは年々盛大になってきている。農村のライブは全国を見ても他にはないものであると思う。山麓線近くなので、通行している方々が興味を持つのではと思う。今後も継続し、活性化に役立ててほしい。また南葉山の駐車場整備についてはまだ不足を感じている。灰塚の町内会館の舗装では駐車台数が増え、今年は黒田小の防犯協会や後援会の会議を、学校ではなく灰塚町内会館で実施することができた。学校ではできなかった懇親会が会議の後に開かれ、地域の問題等も話すことができ、結果としてよかった。臥蛇池のフェンス設置により、施設の高齢者が池へ転落することを予防でき、先見の明があったと感じている。町内の防犯灯のLED化だが、各町内で予算不足なことから喜ばれている。早く、混在する蛍光管がなくなりLEDへ統一されることを希望する。小学校への楽器購入には疑問を感じ、支援事業で学校に物を先に提供することは、筋が違うと考えている。ただ、その後の活動を見ると、黒田小に限れば、南葉山や山麓線全通、上越妙高駅など、いろいろなところで活動をしている。保護者が子供に連れられて、運動会では観客数が増えた。支援事業の効果があったのではと思う。

#### 【田村会長】

私は、自分自身が本当の意味で自主自立していないと感じている。自主的審議について、当初は多数出たのだが、それを突き詰めて広げられてこなかった。地域に入ると問題点や意見が出てくるのだが、広い金谷地区としての対応となると躊躇してしまった。一つの運動をすることで地域を引っ張っていく、エリアを広げていくということが、今後の課題となると感じている。また皆さんからの意見を、直感的に受け止められなかった。会長として、金谷地区にこだわってきたが、他の地区との交流が必要ではなかったかと感じる。地域では、地域協議会自体の理解が進んでいないということがある。

市議会議員は選挙があり、それにより活動ができる。地域協議会委員も選挙となれば、地域に違ったインパクトを与えられると思う。地域協議会そのものがまだ定着していない。合併前の13町村では、今までの議会を地域協議会に切り替えてきた歴史的背景がある。それにより地域の理解があったように感じている。金谷区はまだ、2期である。今後さらに地域の声を汲み上げていけるようになるかと思う。

各委員の4年間の努力、課題について勉強いただいたことを、今後につなげてほしい。地域から自主的な事業が出てきたり、自分たちが何をすべきかをお互いにわかってくるれば、違った意味での盛り上がりができると感じている。

会長として、議論したあとの整理がうまく進められなかった場面もあった。今後も皆さんの指導の下、金谷区地域協議会の発展を希望する。

発言を求める。

#### 【山崎委員】

当日配布資料No.1 金谷区の課題で「⑥金谷地区にはいろいろな組織があるが、一体化が必要。」とある。大貫、平山、神山、金谷の4町内の自主防災組織のバックに、大貫消防部後援会がある。その会議では消防部の活動に関して、装備の整備、人手の確保などの悩みが出てくる。そこで各町内会の防災訓練を今年4町内会合同で行うとの話があり、まとめりそうな段階。防災についても協議会で議論したが、この単独ではない4町内の合同訓練については推移を見守っていく。訓練の内容については不安な部分もあるというが、ひとつの冒険としてやってみようとしている。このことを皆さんにお知らせしたい。

**【田村会長】**

発言を求める。

**【高橋敏光委員】**

新幹線の開通が観光につながればという思いであったが、上越市全体ではフェリーあかねの乗船率は二割ほど上がっている。新幹線の乗降客数は当初予想より多かった。特に観桜会から謙信公祭などでは乗降客数が増えていた。昨日おとといは開業1周年記念があり、イベントには多数の観光客が来ていた。本町でもイベントをするが、イベントはそれ自体で終わってしまう。たくさんの売上もあり、成果も出たということはいずれののだが、駅周辺のみで残念ながら金谷地区まで及んでこなかった。佐渡への観光でもこちらには立ち寄らない。花見でもそうであり、金谷地区は通過地点となっている。その客足を止める方法があればと思う。自然観光資源があるというだけでは難しい。新幹線の利用客向けに市の観光面で力を入れているが成果が上がらない中、イベントのときだけ成果があるが、年間を通したものは難しいかと思う。金谷地区でもそうである。たとえば儀明川ダム周辺が観光地になるのかどうか、ダムを見たければ柿崎ダムの方が大きい。小中学校の学習のための見学にはよいのだが、観光にはつながっていかない。金谷山スキー場も規模が小さく、観光にはつながらない。最近では小中学生のスキー授業もしていない。その中で地元があきらめている。御殿山町内も高田姫ゆかりの地ということで有名となったが、町内で看板を立てて読んでもらい、それだけで終わってしまっている。観光になるかならないかは、売上につながらないと実際の観光とはならない。小学生が儀明川ダムを見学しても観光にならないし、金谷山でも歩く人が増えても実際の観光に繋がっていない。人を呼ぶことができても、本当の観光地にはなっていないのが現状。目玉になるものが欲しい。土台はできているので、今後次の委員に期待する。

**【川住副会長】**

金谷区をPRして観光客が来ても、地元にある程度の還元がないと続かないと思う。上越妙高駅を降りてバスで金谷山や正善寺工房、南葉山キャンプ場などに行けば金谷区の名物があり、それを買ってもらえる。それらについて、次の委員に考えてもらいたい。金谷区に何かメリットがあり、それによって活動が続けられるとい



うことが今後大事になってくる。金谷区は自然豊かでゴミもなく草刈りも行き届いていて、川も山もあり良いところであり、そこを回遊することで何かお土産なども見つかる。その土産物で有名になる。自分達でできなければ市内の菓子メーカーと連携する。地元に戻元できるような体制がないと継続性にはつながらないと思う。

**【田村会長】**

発言を求める。

**【上野委員】**

各委員が言われたことをもっと、人にぶつけることで、行動が起きるかもしれない。トキめき鉄道でサイクルトレインの試みが始まった。それにより降車駅での活動が広がる。上越妙高駅に自転車のレンタル店を設置し、そこに金谷区の観光マップなどを置いて案内をすれば、少しでも人が動き使ってくれるかもしれない。そのような情報発信ができれば、それに応えてくる人もいるのではと思う。地域の人への投げかけも大切。

**【田村会長】**

とどまらずに一步前へというということである。次につなげていきたい。

事務局に事務連絡を求める。

**【橋本センター長】**

- ・第1回地域協議会：4月27日（水）午後6時～ 福祉交流プラザ
- ・次期委員の応募状況
- ・地域活動支援事業：事前相談を受け付け中

**【田村会長】**

質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課  
南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。